

# 1. VPN で社外からアクセス運用する設定

サーバー（ライセンス、図面ファイル、電キャビ等）へ VPN を通じて社外から社内へ接続を行い、ACAD-DENKI を利用する設定を記載します。

尚、本手順は BricsCAD をベース CAD と使用する前提で記載しております。

AutoCAD をご利用の場合は、インストール方法、ライセンス設定等、Autodesk 社のホームページをご確認ください。

## 1.1. インストール

利用するクライアント端末に新規で ACAD-DENKI をインストールする手順を記載します。  
既にインストール済の場合、この手順は不要です。

### 1.1.1. BricsCAD のインストール

1. 以下の URL を参考に BricsCAD のインストールを実施します。

[https://www.bj-soft.jp/support/install/install\\_new1.html](https://www.bj-soft.jp/support/install/install_new1.html)

### 1.1.2. ACAD-DENKI のインストール

1. 以下の URL を参考に ACAD-DENKI のインストールを実施します。

[https://www.alfatech.jp/support/install/install\\_new.html](https://www.alfatech.jp/support/install/install_new.html)

## 1.2. ライセンス

利用するクライアント端末の BricsCAD、ACAD-DENKI のライセンス設定手順を記載します。  
スタンドアロンライセンスで既にライセンスアクティベート済の場合、この手順は不要です。

### 1.2.1. BricsCAD のライセンス

1. 以下の URL を参考に BricsCAD のライセンスアクティベートを実施します。

<https://www.bj-soft.jp/support/activate/telework.html>

### 1.2.2. ACAD-DENKI のライセンス

#### 【スタンドアロンライセンス】

1. 以下の URL を参考に ACAD-DENKI のライセンスアクティベートを実施します。

[https://www.alfatech.jp/support/install/license\\_settings.html](https://www.alfatech.jp/support/install/license_settings.html)

#### 【ネットワークライセンス】

ネットワークライセンスの場合、サーバーからライセンスを借用し、使用します。

ライセンス借用・返却オプションツールがインストールされていない場合、

クライアント用インストーラーからインストールする必要があります。

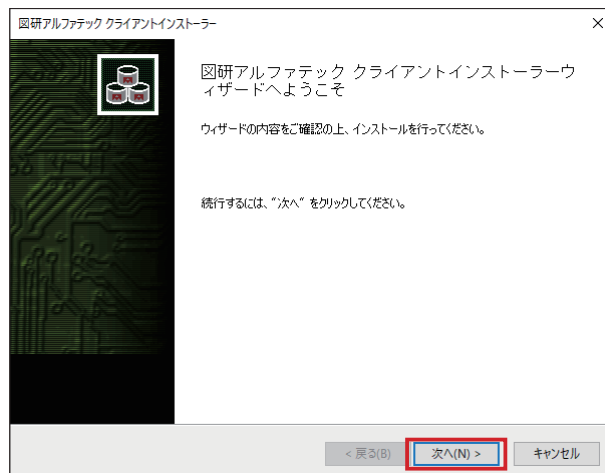
[ライセンス借用・返却オプションのインストール]

1. クライアント用インストールメディア内の Setup.exe を実行します。

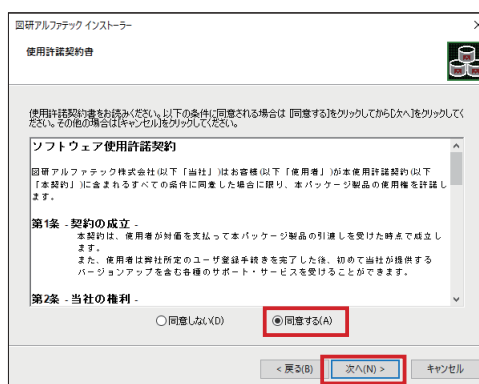
インストールメディアがお手元にない場合は、下記 URL の《クライアント PC 用インストーラ》をダウンロードしてください。

<https://www.alfatech.jp/support/Delivery/>

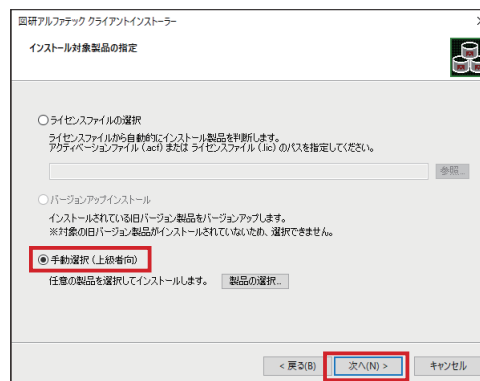
2. インストールウィザードが表示されます。  
"次へ" をクリックします。



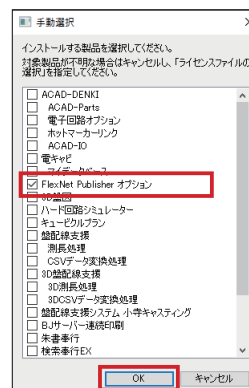
3. 《同意する》にチェックをいれ、"次へ" をクリックします。



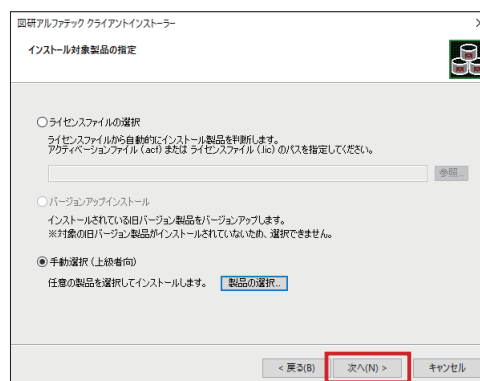
4. 《手動選択 (上級者向)》にチェックを入れ、"製品の選択" をクリックします。



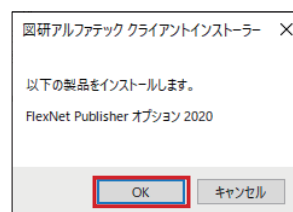
5. 《FlexNet Publisher オプション》にチェックを入れ、"OK" をクリックします。



- インストールウィザードが表示されます。  
"次へ" をクリックします。



- 確認ダイアログが表示されます。  
"OK" をクリックします。

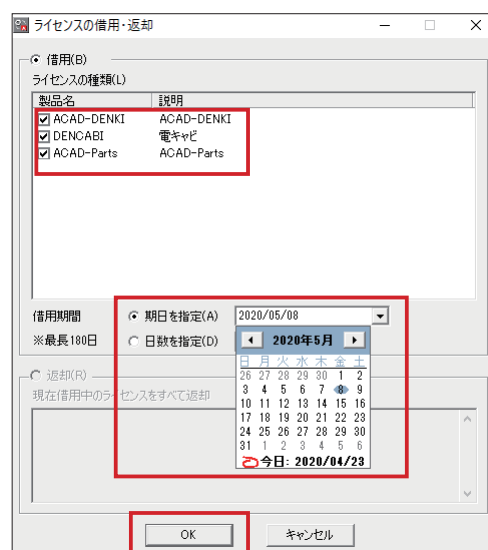


- インストール完了です。  
"完了" をクリックします。

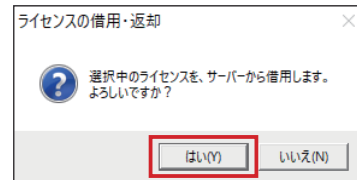


#### [ ライセンスの借用 ]

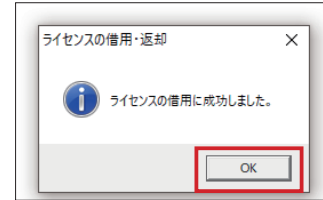
- スタートメニューの [A]-[Alfatech]-  
[アルファテックランチャー] をクリックします。
- アルファテックランチャーが起動しますので、  
[Alfatech]-[管理ツール]-[ライセンスの借用・返却]  
をクリックします。
- ライセンスの借用・返却ダイアログが表示されます。  
借用する製品名にチェックを入力し、借用期間として「期日を指定」、「日数を指定」のいずれかを選択、  
設定します。
- "OK" をクリックします。



5. 確認のダイアログが表示されます。  
"はい" をクリックします。



6. 確認ダイアログが表示されます。  
"OK" をクリックします。



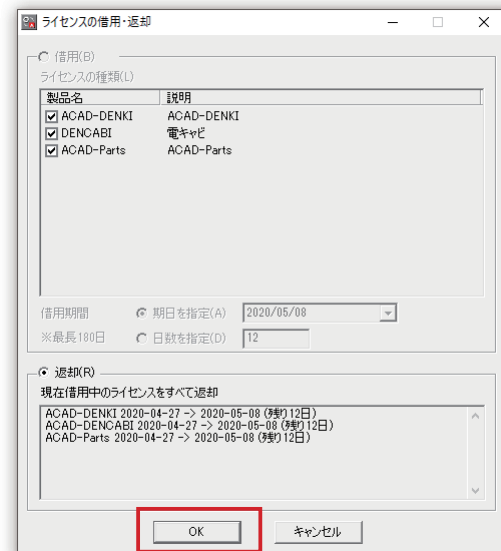
### [ライセンスの返却]

1. スタートメニューの [A]-[Alfatech]-[アルファ テックランチャー] をクリックします。

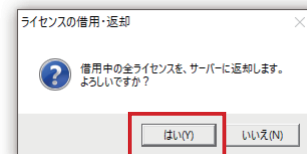
2. アルファテックランチャーが起動しますので、  
[Alfatech]-[管理ツール]-[ライセンスの借用・返却] をクリックします。

3. ライセンスの借用・返却ダイアログが表示されます。  
ダイアログ下部の "返却" にて借用期間を確認することができます。

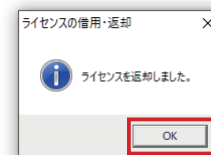
4. 返却する場合、"OK" をクリックします。



5. 確認ダイアログが表示されます。  
"はい" をクリックします。



6. 確認ダイアログが表示されます。  
"OK" をクリックします。



※借用期間満了するまで使用する場合は、返却処理は必要ありません。

[借用機能を使用せず、社外から VPN で社内ライセンスサーバーにアクセスする場合]

**ネットワークライセンス管理において、VPN 環境はサポートしておらず、利用は推奨していません。**

サポート対象外ではございますが、VPN 環境でネットワークライセンス管理を行う場合はライセンス管理サーバー PC とクライアント PC 間では TCP/IP 通信が問題なく行える環境であれば使用可能かと思えます。

※レスポンスが低下する可能性がございます事予めご了承ください。

VPN 接続を行う環境では、ライセンスサーバを検索する際、通常より時間を要します。

タイムアウトが発生してライセンスを取得できず、ACAD-DENKI を起動することができない場合があります。

この場合は、システム変数「FLEXLM\_TIMEOUT」を作成して値を大きく設定し、タイムアウトの発生を回避するようにして下さい。

#### 【操作方法】

1. スタートメニューよりコントロールパネルを開き、  
[システムとセキュリティ]-[システム][システムの詳細設定]をクリックします。  
システムのプロパティダイアログが表示されます。
2. ダイアログ内 [詳細設定] タブをクリックし、[環境変数] ボタンをクリックします。  
環境変数ダイアログが表示されます。
- 3.[環境変数] ダイアログボックス下側、「システム環境変数」の項目にある [新規] ボタンをクリックします。
4. 変数名に「FLEXLM\_TIMEOUT」と入力し、変数値に例として「1000000」と入力します。  
※単位はマイクロ秒となっております。例：1000000 = 10 秒
- 5.[OK] ボタンをクリックし、すべてのダイアログを閉じます。

また、VPN でライセンスサーバーに接続するにあたり、VPN ルータ側でポート番号の開放が必要となります。

使用しているライセンスファイルの記述内容を確認し、右図のポート番号 (TCP) へアクセスを許可するよう設定してください。

1 行目末尾に右図のような数字がない場合、

ポート番号：27000~27009 を許可してください。

※ライセンスマネージャーがデフォルトで使用する

ポート番号は 27000 ~ 27009 のいずれかとなります。



```
ACAD-DENKI2020B10D10P10.lic - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
SERVER SAMPLE_SERVER abcdefabcdef 27100
USE_SERVER
VENDOR alfa flex port 59684
FEATURE ACADDENKI alfa flex 21.0 permanent 10 ¥
VENDOR_STRING=VersionDisplay=2020 BORROW=4320 S
CB2D 5CC3 5882 AFFC 110A 258F 6645 285A 7000 0B
2A2C 9617 43E7 0AB8 FBDD ABA9 3A12
FEATURE ACADDENKI alfa flex 21.0 permanent 10 ¥
```

上記設定をしてもうまくいかない場合、

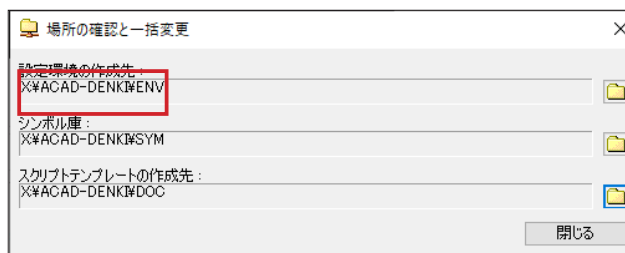
ライセンス借用機能を用いて運用していただくようお願いいたします。

## 1.3. 環境ファイル

環境参照先がサーバー名で接続されている場合、IP アドレスで参照するように変更します。

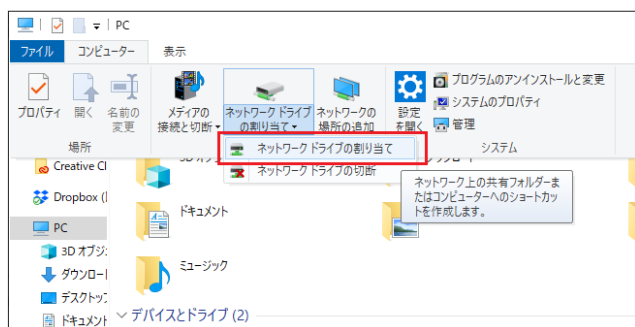
### 1.3.1. 環境ファイルの参照パス確認

1. スタートメニューの [A]-[Alfatech]-  
[アルファテックランチャー] をクリックします。
2. アルファテックランチャーが起動しますので、  
[Alfatech]-[管理ツール]-[場所の確認と一括変更]  
を起動します。
3. 環境の参照パスが表示されます。  
使用しているネットワークドライブ名を確認しま  
す。(右図例: [X])

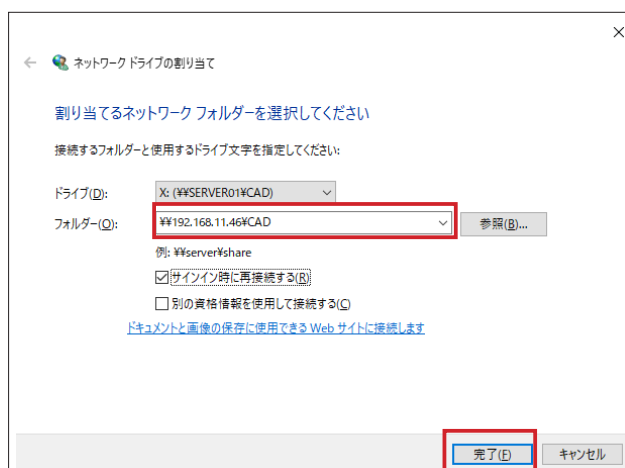


### 1.3.2. ネットワークドライブ割り当て変更

1. Windows エクスプローラを表示し、[PC] を開きま  
す。
2. "コンピューター" タブより [ネットワークドライ  
ブの割り当て] を選択します。



3. 上記で確認したドライブ名を確認し、サーバー名で  
参照設定されている場合はサーバーの IP アドレス  
に参照パスを変更し、"完了" を選択します。  
(設定例)  
ドライブ名: X  
サーバー名: SERVER01  
IP アドレス: 192.168.11.46



## 1.4. 電キャビ・部品マスタ

電キャビ、部品マスタについて VPN でサーバを参照する際、サーバー名で接続設定している場合は IP アドレスで参照するよう変更が必要となります。

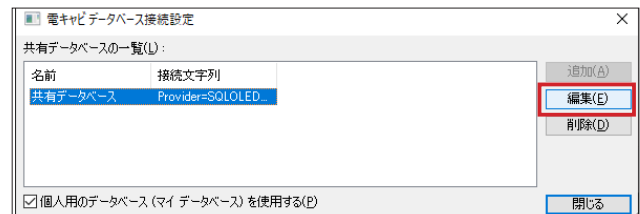
### 1.4.1. ポートの解放

1.VPN でデータベースに接続するにあたり、VPN ルータ側でポート番号の開放が必要です。  
ポート番号 1433(TCP) へのアクセスを許可するよう設定してください。

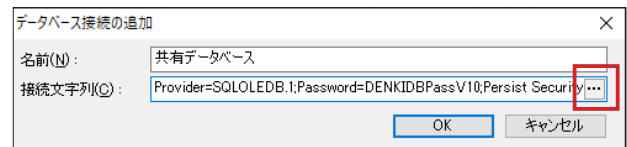
### 1.4.2. 電キャビ接続設定

1. スタートメニューの [A]-[Alfatech]-[アルファテックランチャー] をクリックします。
2. アルファテックランチャーが起動しますので、[Alfatech]-[管理ツール]-[電キャビ]-[接続設定] を起動します。
3. 電キャビデータベース接続設定が起動します。一覧から項目を選択し、"編集" をクリックします。

※一覧に何も項目が無い場合、サーバーを使用していないため、以降の電キャビ接続設定は不要です。

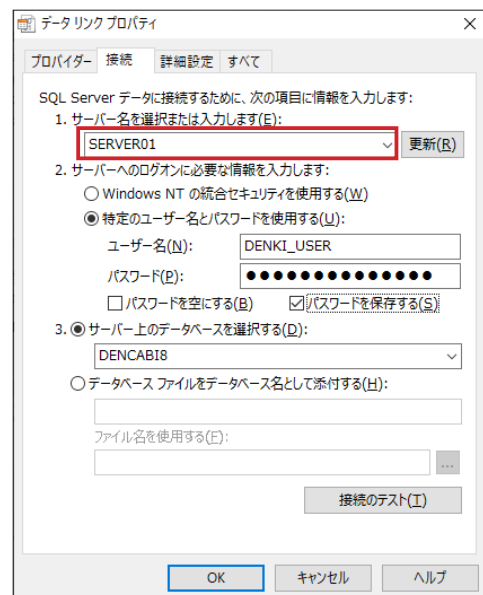


4. 接続文字列右端の [...] をクリックします。

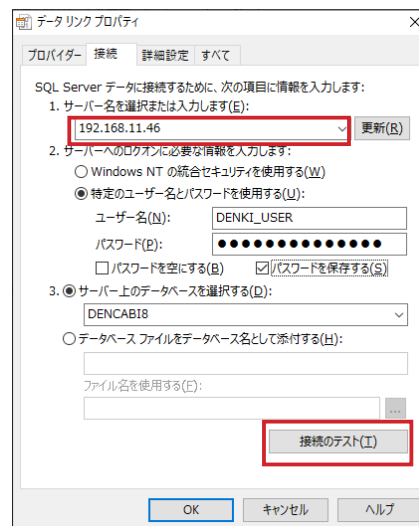


5. 接続タブよりサーバー名か IP アドレスかを確認します。

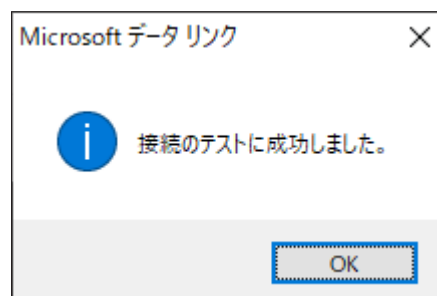
※ IP アドレスで設定されている場合、以降の設定は不要です。



6. サーバー名だった場合、IP アドレスに変更し、  
"接続テスト" をクリックします。  
右図は下記例での設定となります。  
(設定例)  
サーバー名：SERVER01  
IP アドレス：192.168.11.46



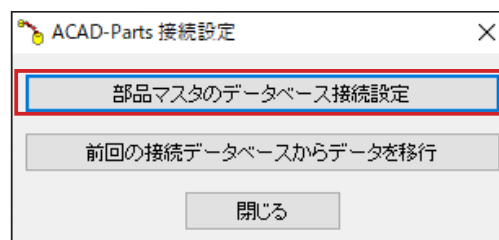
7. 接続テスト実行時に《接続のテストに成功しました。》と表示されればサーバーへのアクセスができています。  
「データリンクプロパティ」、「データベース接続の追加」、「電キャビデータベース接続設定」ダイアログで "OK" をクリックして設定完了します。





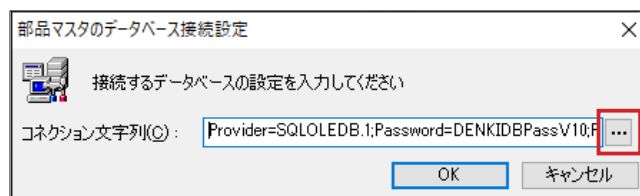
### 1.4.3. 部品マスタ接続設定

1. スタートメニューの [A]-[Alfatech]-  
[アルファテックランチャー] をクリックします。
2. アルファテックランチャーが起動しますので、  
[Alfatech]-[管理ツール]-[ACAD-Parts]-[接続設定]  
を起動します。
3. ACAD-Parts 接続設定が表示されます。  
"部品マスタのデータベース接続設定" をクリック  
します。

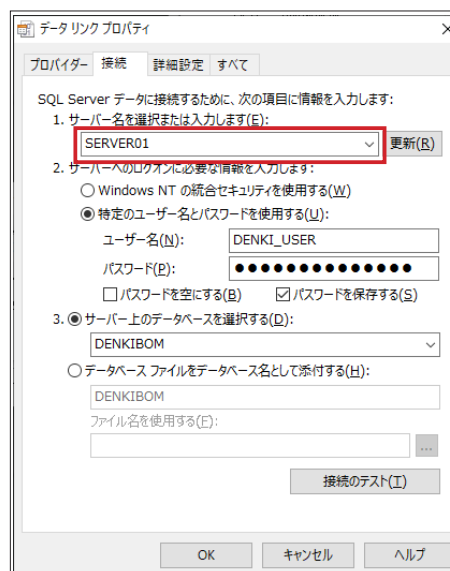


4. コネクション文字列右端の [...] をクリックします。

※コネクション文字列が空欄だった場合、サーバーを参照していないため以降の設定は不要です。



5. 接続タブよりサーバー名か IP アドレスかを確認し  
ます。  
※ IP アドレスで設定されている場合、以降の設定は  
不要です。



6. サーバー名だった場合、IP アドレスに変更し、  
" 接続テスト " をクリックします。  
右図は下記例での設定となります。  
( 設定例 )  
サーバー名 : SERVER01  
IP アドレス : 192.168.11.46

データリンクプロパティ

プロパティ 接続 詳細設定 すべて

SQL Server データに接続するために、次の項目に情報を入力します:

1. サーバー名を選択または入力します(E):  
192.168.11.46 更新(B)
2. サーバーへのログインに必要な情報を入力します:  
 Windows NT の統合セキュリティを使用する(W)  
 特定のユーザー名とパスワードを使用する(U):  
ユーザー名(N): DENKI\_USER  
パスワード(P): ●●●●●●●●●●  
 パスワードを空にする(B)  パスワードを保存する(S)
3.  サーバー上のデータベースを選択する(D):  
DENKIBOM  
 データベース ファイルをデータベース名として添付する(H):  
DENKIBOM  
ファイル名を使用する(F):  
.....

接続のテスト(I)

OK キャンセル ヘルプ

7. 接続テスト実行時に《接続のテストに成功しました。》と表示されればサーバーへのアクセスができています。  
「データリンクプロパティ」、「部品マスタのデータベース接続設定」、「ACAD-Parts 接続設定」ダイアログで [OK] をクリックして設定完了します。

